

## 開発計画セミナー

# 環境と共生する持続可能なまちづくりに向けて

～ドイツ環境都市の挑戦に学ぶ～

21世紀を迎え、我が国は、グローバル化の進展、生存基盤そのものを脅かす地球環境問題、かつて経験したことのない規模の人口減少と急速な少子高齢化などの大きな課題に直面しています。

現在、素案が示されている新たな北海道総合開発計画では、北海道固有の優れた資源・特性を活かしながら、これらの我が国が直面する課題の解決に貢献するとともに、活力ある地域経済社会の形成を図るための戦略ビジョンが示されています。

その主要施策の一つである「地球環境時代をリードし自然と共生する持続的な地域社会の形成」では、持続可能な美しい北海道の実現を目指し、自然共生社会、循環型社会、低炭素社会の形成を図ることとしており、また、今年7月に開催される「北海道洞爺湖サミット」を契機として、北海道が、我が国の環境政策の先駆的取組のモデルとなり、世界に開かれた地域として発展していく好機といえます。

しかし、温暖化問題への対応は、国や企業だけでなく地域や住民も含めた広範なレベルで実践的に進めていかなければならないテーマです。

本セミナーは、釧路公立大学地域経済研究センターが進めている研究プロジェクト「持続可能な地域開発政策のあり方に関する研究」(財団法人北海道開発協会委託研究)によるドイツ環境都市の取組事例を報告していただき、環境問題に地域としてどのように向き合っていけばいいのかを、あらためて考える契機としていくことを目的に開催します。

### 日時

平成20年3月28日(金)

14:30～16:30

### 場所

札幌第1合同庁舎2階講堂

(札幌市北区北8条西2丁目)

※会場へは公共交通機関をご利用ください。

入場料 無料

定員 200人程度

主催 北海道開発局・財団法人北海道開発協会

<申込み・連絡先> 財団法人北海道開発協会(担当 佐藤、斉藤)

tel 011-709-5213 fax 011-709-5229

※申し込みは3月25日で、締め切らせていただきます。

### 講演者



### 小磯 修二氏

釧路公立大学教授・地域経済研究センター長  
<プロフィール>

1972年京都大学法学部卒業。北海道開発庁を経て、'99年6月から釧路公立大学地域経済研究センター長。地域の課題に対応した多くの実践的な共同研究プロジェクトを推進。中央アジア地域等で地域開発分野での国際貢献活動にも従事。

北海道観光審議会会長、北海道市町村合併推進審議会会長など公職多数。



北海道洞爺湖サミット  
道民会議 2008

# 環境と共生する持続可能なまちづくりに向けて

## ～ドイツ環境都市の挑戦に学ぶ～

### <プログラム>

#### I ルール地域・IBAエムシャーパーク による地域再生

疲弊した石炭・鉄鋼産業地域から環境再生・産業文化地域への復興の歩みと現況を紹介



#### II 環境と共生する都市政策への挑戦

—地球温暖化に地域はどのように向き合うか—

##### 1 フライブルグ市の事例

ドイツで最も早くから環境政策に取り組み、その取り組みは世界から注目されているフライブルグ市の環境政策、エネルギー政策、交通政策等を紹介



##### 2 ミュンスター市の事例

ミュンスター市は自転車の街として有名だが、最近では環境首都に選ばれるなど、独自の環境政策を展開しており、その取り組みを紹介



### 開発計画セミナー (3/28) 申込書

所属・役職	氏名	Tel	Fax

※上記申込書に必要事項をご記入の上、申込先までFaxでお申し込みください